

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	第3回音更町総合計画審議会
開催日時	令和元年11月27日（水） 午後6時30分から午後8時00分
開催場所	音更町役場本庁舎4階特別会議室
委員出席者	岡田委員、岡庭委員、小川委員、梶谷委員、河田委員、白木委員、鈴木委員、田中委員、土田委員、東端委員、西川委員、野久委員、野村委員、畠委員、波多野委員、林委員、藤川委員、古川委員、宮村委員【計19名】 （欠席委員） 阿部委員【計1名】
町側出席者	高木副町長、岸本総務部長、荒井町民生活部長、重松保健福祉部長、傳法経済部長、鈴木建設水道部長、岩館庁舎改修技術担当部長（兼）建築住宅課長、福地教育部長、古田議会事務局長、杉本会計管理者、重堂企画課長、青砥町民課長、高橋福祉課長、谷川保健センター（兼）地域包括支援センター事務長、早苗農政課長、深谷商工観光課長、下口谷都市計画課長、井原上下水道課長、草浦学校教育課長、高山とかち広域消防事務組合音更消防署長【計20名】 《事務局》渡辺企画財政部長、新名企画課参事（総合計画策定）、大井企画調整係長、田中同主任、松嶋同主事、津久井まちづくり政策推進員【計6名】 《委託事業者》株式会社道銀地域総合研究所・北嶋業務部長【計1名】 （欠席） 佐藤総務課長、【計1名】
議題・諮問内容	1 会長あいさつ 2 議案 （1）まちづくり町民アンケートの結果について （2）人口の推移について 3 その他
会議資料	第3回音更町総合計画審議会議案、音更町各種計画体系図、音更町の人口の推移に関する資料、まちづくり町民アンケート調査結果報告書（概要版）、まちづくり町民アンケート調査結果報告書
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■ まちづくり町民アンケートの結果について</p> <p>委員：この結果から音更町の特筆すべき点を教えてほしい。</p> <p>委託事業者：買い物が非常にしやすい、地域の特産品を食べる機会や場所が多いという回答が、他の町村と比較して多いように感じられた。</p> <p>委員：SDGsの認知度は他の町村と比べて高い方か。</p> <p>委託事業者：唯一実施したところでは3パーセントから5パーセント程度であったため、それと比べれば高いが、実施した自治体が非常に少ないため、何とも言えない。</p> <p>委員：一般の高校2年生世代向けとは別に、音更高校2年生向けという区分を設けて調査を行った理由は何か。</p> <p>事務局：音更町と関わりがあるという理由から、音更高校に通っている町外に住む2年生についても調査の対象とするため。</p>

委員 : 18歳以上の町民向けのアンケート調査について、どの年齢層からの回答が多かったか。

委託事業者 : 若年層からの回答はやや少なく、中高年齢層からの回答が多い。

委員 : ほぼ一貫して高い数値を示している居住地があるが、実態をストレートに示しているか。それとも、母数が少ないなどの別の見方があるのか。

委託事業者 : サンプル数が少ない地域もあるため、一概に同じように各地区で把握、分析することはできないが、このような傾向があるということで整理せざるを得ない。

■ 人口の推移について

委員 : 施策を積み上げた後に目標人口を設定するのか、目標人口を設定した後に施策を積み上げるのか。

事務局 : 総合計画は、基本構想を立てた後に、それを担保するための基本計画や施策を立てる方法で策定することから、目標人口を設定した後に施策の検討を行う流れを考えている。

委員 : 目標人口の設定について、今の人口よりも増やす方向での設定を考えているのか、人口減少をできるだけ食い止める方向での設定を考えているのか。

事務局 : 様々な設定方法があるので、皆様のご意見をお伺いした上で決めたいと考えている。また、国の人口ビジョンの基準となる社人研の人口推計を参考にすると考えている。

委員 : 次回以降の審議会でも人口や出生率が伸びているまちの事例を紹介してほしい。

事務局 : 近隣もしくは国内の情報を集めて紹介させていただく。